

冬季オリンピック

ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックが終わってしまいました。日本選手は大活躍。明け方までテレビに釘付けになりながら、連日大いに楽しませてもらいました。真剣勝負のスポーツを真剣に観戦していると、電波を通してでも気迫がピンバシと伝わってきます。結果がどうこうではなく、とにかく選手たちの姿を観ているだけで心が豊かになるのです。

私はスポーツ観戦が大好きです。待ちに待った冬季オリンピックです。すから、できる限り私の生活リズムをオリンピック時間に合わせて過ごしました。まず早寝して、夜中や未明に起きて、とにかくライブで中継を観るのです。試合は結果を知ってからビデオ観戦では面白さが半減します。この先、勝負の行方はどうなるのだろうか…、世界中の誰もが次の展開を知らな

「りくりゅう」ペアの大活躍から

今回は三浦璃来&木原龍一の

小山実稚恵 — 144

ピアノと私

©Hideki Otsuka

公演情報

デビュー40周年記念
小山実稚恵ピアノリサイタル
～ベートーヴェン、その向こうへ～
3月22日(日) 14:00
近江八幡市文化会館大ホール
《ベートーヴェン後期三大ソナタ》
ピアノ・ソナタ第30番、ピアノ・ソナタ第31番
ピアノ・ソナタ第32番
問い合わせ：近江八幡市文化会館
☎0748-33-8111

小山実稚恵のピアノイズム
大阪リサイタルシリーズ2026
4月19日(日) 14:00 いずみホール
シューベルト：ピアノ・ソナタ第19番
シューベルト：ピアノ・ソナタ第20番
シューベルト：ピアノ・ソナタ第21番
問い合わせ：大阪新音
☎06-6926-4888

ライヴのドキドキ感。人間が全力を尽くす姿は、本当に尊く感動的です。

選手はオリンピックに照準を合わせて心身ともに最高の準備をしているはず。しかし本番には何が起ころうとも不思議もない。怪我を負いながらオリンピックに参加する選手も多くいますし、自然環境によって状況も一変する。ジャンプ競技なら風の影響を激しく受けやすし、モーグルやアルペン競技なら前の選手の滑り具合で、刻々と雪面状態が変化する。そういうコンディションの不公平を訴えたところで、結局は自身の心を乱すだけ。どんな状況であっても、それらを受け入れて競技に臨む精神こそが美しいのです。

子供の頃から天才と言われていたスノーボード・ハーフパイプの戸塚優斗選手は、過去2度のオリンピックでは怪我や不調で思うような結果を出せなかったのですが、今回ついに金メダルを取りました。その彼の言葉も心に響きました。「若い頃は勘で飛んで、運で着地していた。でもいつかそれではダメになると自分でわかっていった。それで基本に立ち返って一からやり直したそうです。」



KOYAMA MICHIE 東京藝大卒、同大学院修了。1982年チャイコフスキー国際コンクール第3位。85年ショパン国際ピアノコンクール第4位。「12年間・24回リサイタルシリーズ」(2006～17年)や「ベートーヴェン、そして…」(19～21年)は、その演奏と企画性で高い評価を受けた。2022年より、サントリーホール・シリーズ「Concerto(以心伝心)」に続き、ソロ・リサイタルのシリーズ(未来永劫)を開催する。ショパン、チャイコフスキーの二大コンクールなどの審査員も務める。17年度紫綬褒章を受章。仙台での「こどもの夢ひろば」のゼネラル・プロデューサーを務める。